

県北 **どらくろあ**

第122号 2026年5月1日（毎月1日発行）

中国5県絶景の旅⑩

「島根県雲南市・三刀屋川河川公園」

みとや

雲南市最長の桜並木

4月5日、日曜日、8時半過ぎに車で庄原の自宅を出た。庄原の上野池の桜も撮っておこうと車を停めたが、カメラバッグがない。家に忘れたことに気づいて取りに帰った。最近、こういうことが増えている。早く気づいて幸運だった。

上野公園の桜は、もう盛り過ぎてきているだろうか。見上げて花がまばらな感じで少しさびしい。

西城川沿いの国道183号線が上空に映えて、気分が高揚してくる。去年は4月7日に同じ道を走った。バックナンバーの記事を確認すると、備後落合駅近くの沿道にはかなりの雪が残っていたと書いてある。今年はまだ雪が溶けている。

備後落合駅の手前を左折して、油木川沿いの国道314号線に登る。油木駅前の広場の桜は、今年もまだ咲いていない。三井野原駅を通過しておろちループを下っているときに、少しばかりの雪が残っていた。日が当たらない場所なのだろう。

何度も通った道だが、季節毎に景色が違って見える。山藤の花が咲き始めている。今日は松江で一泊、木次線ストロールの最終目的地である宍道駅に行くのは明日の予定。この道を車で走ることはいくらもなさそう。

国道24号線（松江木次線）を南大東駅方面に向かって走っている

ときに、「あめつち」と並走になる。古事記の書き出しである「天地（あめつち）の初発（はじめ）のとき……」から命名された快速列車だ。木次線を走るのには日、月曜日だけで月に5〜7回、一日一往復だけなので、貴重なランデブーだ。

あめつちは全席指定席で、飲食ができる観光列車だという。木次線ストロールは駅がメインの紹介なので、乗車する機会はなかったが、いつかは乗ってみたい列車である。車を使わずに、鉄路を乗り継ぐ旅がしてみたい……。

国道54号線に合流する辺りから車が渋滞し始めた。斐伊川の橋の手前を左折して国道45号線に入るとまったく動かなくなった。「島根県雲南市2026桜まつり」の最終日の日曜日、快晴、多くの人が集まるのはわかってきた。

いつもは人混みを避けているのだが、人出で賑わっている桜並木を歩いてみたかった。ソメイヨシノは人工的に作られた品種である。愛でる人がいて輝きを増す。その桜並木の下を歩いてみたかった。



三刀屋川の両岸に桜が連続して植栽されている。



斐伊川堤防桜並木の桜まつりは最終日

車はノロノロと堤防沿いの道を進んだが、駐車場の前でまた待たされている。わたしがこの場所に來るのは3年連続、あそこならは三角形の空き地で、ほとんどが車で埋まっていたが、端に軽自動車

発行：どら書房

誌面デザイン：ROUTE183
協賛：九日市愛好会